



Obu Crescendo!

2025年9月発行 発行 / 大府市



大府市制55周年記念市勢要覧2025



Obu Crescendo!

CONTENTS

- 03 音楽
- 07 SPECIAL TALK
- 11 次世代
- 15 スポーツ
- 17 健康
- 21 産業
- 23 四季
- 31 55年の歩み
- 33 市の概要
- 34 市長メッセージ



大府市制55周年ロゴマーク

「55」の左側の5をバイオリンのシルエットを用いて音楽を、右側の5をハートを用いて市の住みよさ、市への愛着、健康を表現しています。

音楽を通じて、心豊かに、心が弾む様子を表すため、バイオリンのえんじ色と、エネルギッシュな赤色を使用しました。

今回、市勢要覧で撮影した写真は、市公式Instagramにも随時、掲載していきます。

また、市制55周年記念映像は、市公式YouTubeからご覧いただけます。詳しくは右の二次元コードをチェック



Instagram



YouTube

大府市は市制55周年を迎えました

「Obu Crescendo!」

crescendo(クレッシェンド)は、音楽の世界で「だんだん強く」「最高潮へと高まる」という意味を持つ言葉です。

大府市は、市民がいつまでも健やかに暮らすことができる「サステナブル健康都市」の実現に向けて、着実に歩みを重ねてきました。

そして今、「健康と音楽」という新たなテーマを掲げ、まちづくりのステージをさらに一歩先へと進めようとしています。

誰もが音楽に親しめるまち

誰もが健康で幸せを感じられるまち

誰もが希望を抱くことができるまち

大府市は、そんなまちの未来を思い描きながら、希望に満ちた音色を奏で続けます。



吉田保育園の園児と清水くるみさん



01 鈴木バイオリン製造本社工房



#アートな建物 #職人魂感じます #バイオリンは伝統工芸品



1888年に完成した鈴木政吉作の第1号バイオリン

02 おおぶ野外クラシックコンサート



#全員大盛り上がり #開放感がハンパない #弦楽器っていろんな音を奏でるんですね



03 竹澤恭子・佐藤桂菜・進藤実優 中学校訪問コンサート

#大府市の偉大な先輩 #音楽にうっとり



04 水野紗希・山下俊輔 小学校訪問コンサート



#音楽って素晴らしい

05 バイオリン/フィドル音楽の休日



#クラシックだけじゃない弦の世界

06 企画展「宮沢賢治と音楽」 #宮沢賢治ゆかりのバイオリン・ピアノの展示 #約100年の時を超えて大府に楽器が里帰り



#タケカワユキヒデ氏がバイオリンを寄託 #アインシュタインの手紙 #鈴木政吉の偉大さが分かる

07 大府市歴史民俗資料館 大府バイオリン縁起コーナー



08 おおぶジュニア弦楽団



#未来の演奏家たち #結成半年初めてのロビーコンサート

09 小学校でのバイオリン授業



#弾けるかドキドキ #小学4年生初のバイオリン
#きらきら星

10 福祉施設でのバイオリン体験



#大人になってからのチャレンジ

11 大府ジュニア合唱団 Smile



#美しい歌声を大府から #大府市合唱祭

#バイオリンの音色は国境を越える



12 オーストラリア ポートフィリップ市 姉妹都市提携30周年

#冬の太府駅に彩りを

太府駅前イルミネーション

13



清水くるみさん

1994年7月16日生まれ。大府市出身の俳優。アミューズ所属
アミューズ30周年全国オーディションで65,368人からグランプリを獲得し、ドラマ・映画・舞台で幅広く活躍中
主な出演作品は、ドラマ『親友は悪女』（BSテレビ東京）、連続テレビ小説『ブギウギ』（NHK）、舞台『東京輪舞』、ミュージカル『Kinky Boots』など。

柳美稀さん

1997年8月24日生まれ。大府市出身の俳優。オスカープロモーション所属
2016年、テレビ朝日系『動物戦隊ジュウオウジャー』のジュウオウシャーク/セラ役でドラマ初出演を果たす。主な出演作品は、『賭けグルイ』『科捜研の女Season21』『GO HOME～警視庁身元不明人相談室～』などの映像作品、『西遊記』『トンカツロック』などの舞台がある。2019年「大府市制50周年スペシャルサポーター」を務める。

大府を語る特別座談会

大府市のまちづくりの魅力と未来を語る

大府市制55周年を記念して、広報大使の清水さんと柳さん、岡村市長の特別座談会を開催
大府市の魅力やこれからの展望などをお話いただきました。

大府市長

岡村 秀人
Okamura Hideto

俳優／大府市広報大使

清水 くるみ
Shimizu Kurumi

俳優／大府市広報大使

柳 美稀
Yanagi Miki

2027年開館予定の「おもちゃ美術館」

市長 大府市に水の恵みをもたらす愛知用水は、長野県王滝村・木曽町が水源です。上流では伐採期を迎えた木材の使い道が課題となっていたため、2023年に「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を結び、大府市で木材の活用を進めています。その一つが、遊びや体験を通じてこどもたちの創造性と感性を育む「おもちゃ美術館」です。大府市にこどもが集う場所を作りたいと考えています。

清水 私はこどもの頃、あいち健康の森公園によく行きました。最近は夏が暑すぎて外で遊ぶのが危険だと言われてるので、大府市に室内の遊び場ができるとうれしいですよ。木のおもちゃは頭を使うものが多いので、大人が遊んでもストレス発散になりそうです。木の遊具やボルダリングもあるといいな。

柳 1分の1スケールの木の車を作るのも面白そうですね！ 私たちがアイデアを出したら作ってくださいますか？（笑）

市長 木の車は面白いアイデアですね。東海3県初のおもちゃ美術館になるのですが、こどもだけでなく、大人も一緒に楽しめる施設にしたいと考えています。

清水 愛知県ならではの工芸品がおもちゃとしてあれば、こどものときに興味を持って、後に職人の道に進むかもしれないですね。愛知で育って、愛知で働くというきっかけになるかもしれないですし。

柳 大府市はこどもから高齢者まで支援が充実しているので、ずっと安心して過ごせますよね。市内に住む友人たちは、妊娠・出産・子育てに関わる支援がたくさんあることにとても喜んでいます。だから、大府市の人口が増えているんですね。

市長 そうなんです。子育て世代の転入も増えています。子育て支援は注力すべき課題だと思います。2022年10月から高校生までの入院費を無償化、2024年1月から中学校の給食費を完全無償化しました。現在は、小学校の給食費無償化に向けて準備を進めています。



野外クラシックコンサートでバイオリニストの水野紗希さん、ギタリストの山下俊輔さんと演奏したいです。



俳優/大府市広報大使
清水 くるみ

バイオリンの音色があふれるまち

市長 日本で初めてバイオリンの量産化に成功し、日本のバイオリン王と呼ばれた鈴木政吉は、1930年、名古屋市に「鈴木バイオリン」を創業しました。1935年には、大府市横根町に分工場を建設し、隣には政吉がバイオリンの音色を研究する済韻研究所さいいんもあったそうです。2021年に鈴木バイオリンの本社工房を大府市に誘致したことをきっかけに、音楽・バイオリンの音色が市民の心に響くまちづくりを進めています。

世界で活躍するバイオリニスト・竹澤恭子さんによる中学校訪問コンサート、同じく大府市出身のバイオリニスト・水野紗希さん作曲の大府市公式イメージ曲の発表、小学4年生のバイオリン授業、公民館でのバイオリン講座、野外クラシックコンサートなどさまざまな取り組みを進めています。

清水 私も幼稚園から小学5年生まで、当時は大府駅前にあったスズキ・メソードでバイオリンを習っていました。ギターやピアノは比較的身近ですが、小学校の授業でバイオリンを体験できるのは貴重ですね。こどもの頃から芸術に触れることで、豊かな感性を育むことができると思います。しかも、無料で受けることができたらうれしい。

市長 こどもたちは「バイオリンに触っていい」と聞くと、びっくりします。

柳 そうですね。私が今小学生だったら喜んでバイオリンを弾きます。こどもの頃、友人がバイオリンを習っていたので触らせてもらいましたが、バイオリンを身近に感じるという環境は大府市ならではのようです。

市長 児童センターにもバイオリンを数丁置いていますし、2024年に結成したおおぶジュニア弦楽団に市制55周年記念式典で演奏してもらうことを予定しています。

清水 実は先日、もう一度バイオリンを購入したんです。バイオリニストで広報大使の水野紗希さんに習いたいなと思います。



大府市長 岡村 秀人

鈴木政吉が日本のバイオリンの里を夢見たように「音楽のまち・バイオリンの里おおぶ」を実現します。

「健康都市おおぶ」の今

市長 大府市は「健康都市」として着実に人口が増加し、最近は豊かな自然・産業・住環境の調和がとれたまちの印象も根付いてきました。2024年7月に発表された公示地価では、住宅地・商業地の平均変動率が県内1位という大変光栄な評価もいただいています。

清水 名古屋駅まで電車で約15分とアクセスが良く、住みやすいまちとしても選ばれていますよね。緑も豊かでとても住みやすいと思います。

柳 住宅街の中に公園が多いので、遊びに行きやすく、親も安心していたと思います。他にも、大府市はぶどう狩りやいちご狩りがあって、自然が豊かな印象があります。

市長 現在も市の半分は緑が広がっています。大府市は、こどもだけでなく高齢者への支援にも力を入れています。自分らしく年齢を重ね、幸せを実感できる高齢者を「幸齢者」と定義付け、「健康寿命」と社会と地域で感謝される「貢献寿命」の延伸に注力しています。

また、国立長寿医療研究センターとの連携による運動プログラム、認知症ヘルプマークなどの取り組みにより、認知症を予防できるまち、認知症になっても安心して過ごせるまちづくりを推進しています。

柳 私の親が高齢者といわれる年齢に近づいてきているので、認知症になる可能性がゼロではないです。親とは離れて生活していますが、大府市であれば安心して暮らせるなと思います。

清水 2024年に大府市が舞台の認知症をテーマとしたドラマ『忘れっぽいハムレット』に出演したのですが、振り返ると認知症に優しいまちを知ってもらう良い機会だったと思いますね。

広報大使として今後やりたいこと

市長 今後、広報大使としてやってみたいことはありますか？
清水 吉田保育園で園児と過ごした時間が楽しかったので、おもちゃ美術館が完成したときには、こどもたちとの触れ合いの場があると嬉しいです。美術館へのアイデアも出したいですね！

柳 私は犬が好きなので、譲渡会や動物と触れ合うイベントを大府市でやりたいです。動物を飼うことをためらう高齢者の方が多いと思いますが、お世話による認知症予防や野良猫などの増加防止にもつながると思っています。

市長 実は、動物と共生するまちづくりのために、2021年に「大府市人と犬及び猫との共生に関する条例」を制定しました。野良猫が発生しないよう、市民団体の活動に協力したり、ペット後見に関する相談支援を行ったりしています。

柳 ぜひ私もその活動に参加させていただきたいです！

市長 お二人には今後も広報大使として、大府市の魅力を伝えていただきたいです。同時に私たち市民も「大府市出身の素晴らしい俳優がいるんだよ」と自慢して、二人の活躍を応援していきます。また、同じように若くして活躍しているチェリストの佐藤桂菜さん、ピアニストの進藤実優さんを含めた皆さんで、これからの大府を盛り上げてほしいです。



俳優/大府市広報大使 柳 美稀

こどもの頃、げんきの郷には母親とよく一緒に行きました。温泉に入ったり、焼き芋を食べたりしましたね。



01 木育キャラバン

#木のおもちゃで遊ぼう #移動型おもちゃ美術館 #こどもの想像力と豊かな感性を育みます

#長野県王滝村・木曽町産木材使用 #多世代交流



02 大府児童老人福祉センター（大府こども幸齢者交流センター） 木質空間もくもく（MOKU MOKU）

#こんな保育園に通ってみたい #木のぬくもりいっぱい #2023年4月開園



03 こども家庭センター



#切れ目のない子育て支援を



04 吉田保育園

05 こどもどまんなか応援サポーター宣言



#こどもたちが輝く未来へ

07 こども誰でも通園制度



#ビオーズよこね保育園 #東山ガーデニアこども園

08 おおぶニック学校給食米の提供



#自園・自校調理方式による給食
#市内中学校給食費の完全無償化を実現 #オーガニックビレッジ宣言

09 民間のプールを活用した水泳授業



#水泳授業にも民間のチカラを #こどもの泳力向上

次世代
next generation

06 こんにちは赤ちゃん訪問

#生後0〜3カ月と8カ月に2回訪問
#健やかな成長を見守ります





10

大府子ども歌舞伎



#こどもの懸命な姿に感動 #おひねりいっぱい



11

大府市×韓国洪城郡 おおぶK-POPダンスフェス

#ダンスで広がる都市間交流

12

全世代型サロン



#おいしいごはんは会話が弾む #食でつながる地域の輪

13

こどもたちにやさしい音楽を



#あいち小児保健医療総合センター

14

若者の仲間づくりイベント



#若者の出会いを応援

平和大使派遣

15



#平和都市宣言 #中高生が平和のバトンを未来へつなぐ



#広島 #長崎 #知覧 #沖縄

次世代
next generation



01 大府市民球場 #こんな球場でホームラン打ってみたい #未来のプロ選手がここから生まれるかも



02 槇原寛己さん・元木大介さんによる
小学生向けの野球教室

#プロ野球選手OBからの直接指導にドキドキ



#フィンランド発祥のニュースポーツ #50点ピッタリを目指そう



第1回市民モルック大会

03

ホンソングン
韓国洪城郡の硬式野球チームとの交流試合



#両都市の中学生が野球でつながる

05

地域対抗eスポーツ交流大会

#大人も子ども也大盛り上がり



sports

スポーツ

#誰でも利用OK #ねんりんピックeスポーツ交流大会
#全国大会チャンピオンが誕生



06

eスポーツルーム エスポ いしがせ

07

芝田山部屋・豊田自動織機相撲部による
こども相撲教室



#お相撲さんと四股を踏む #ちゃんこ鍋は絶品



08

至学館大学レスリング部

#未来のオリンピック誕生へ



健康

health

01 認知症不安ゼロ

#9月は認知症月間 #オレンジの世界

「認知症不安ゼロのまち」の実現を目指す大府市は、2017年12月に全国初となる認知症施策の基本条例制定し、2022年7月に認知症サポーターの養成2万人を達成するなど、さまざまな取り組みを展開してきました。そして2024年8月、「認知症ヘルプマーク」を発表しました。このマークは、認知症の方が身に着けることで周囲の人々が気軽に手を差し伸べられる支援の輪が広がることを狙いとしており、全国展開を進めています。

大府市では、この認知症ヘルプマークをラバー素材のパスケースにデザインし、認知症の方やその疑いのある方に配布しています。このマークを付けている方がまちを一人で歩いているときや一人で困っているときには、見守りや声掛けをお願いします。認知症は、65歳以上の約5人に1人が発症すると言われており、誰もが当事者になり得ます。認知症による事故などを未然に防ぎ、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。



OBUオレンジリングモニュメント



2024年8月、プロ・アマを問わず認知症ヘルプマークのデザインを募集したところ、293点の応募があり、その中で特賞に輝いた牧野さくらさん（岐阜県・専門学校生・発表当時20歳）のデザインを採用しました。

このデザインは、黄色が表す認知症の人に、白色が表すまちの人が温かく手を差し伸べる様子を表現し、遠くから笑顔に見えるよう設計されています。



健康

health



02 あいち健康の森公園

#大芝生広場でゆったり過ごそう #1日たっぷり遊んで健康に



#おいしい・ヘルシーな料理でくつろぎの時間を



KURUTOおおぶ

03

#こどもの未来と笑顔のために

04 ロート製薬・スギ薬局・名古屋大学と連携した こどもの近視予防プロジェクト



#こどもたちの“見える”を守ろう



05 あいち小児保健医療総合センター

06 国立長寿医療研究センター



#高齢者の心と体の自立を促進 #健康長寿社会の実現 #健康寿命・貢献寿命の延伸

国立長寿医療研究センターと連携した健康長寿塾

07



#フレイル予防 #J-MINT #認知症リスクへのアプローチ

#2025年10月新コース誕生 #EVバスも運行中
#ゼロカーボンシティ



08 大府市循環バス ふれあいバス

都市鉱山メダル発祥の地記念碑

09



#循環型社会に向けて #金メダルのまち
#大府市ゆかりの金メダリスト10人・金メダル17個



01 豊田自動織機長草工場

#RAV4 #世界180カ国以上で愛されているRAV4



03 スギ薬局



#世界中のクルマの3台に1台は製品が搭載 愛三工業

02



#活き活き健康サロン
ひけつ
#健康の秘訣を専門家がお知らせ



04 おおぶニック学校給食米の生産

#大府のタマネギが商品となり食卓に
#ミートボール #京丹波工場へ出発



石井食品とキッズ野菜ソムリエによる
タマネギ収穫

07 ふるさと納税



#玉清おせち料理



#エアウィーヴスマートZ01 #三つ折りでコンパクトに収納可能



#環境にやさしい米づくり #スマート農業
#オーガニックビレッジ宣言

06 JAあぐりタウン げんきの郷



#毎日大にぎわい #みずみずしい野菜が山積み



#六次産業化 #大府特産黒毛和牛下村牛



#KeePerコーティング



産業
industry



#オーストラリアポートフィリップ園 #1997年に誕生 #両都市の友情の証

大府みどり公園のミモザ

01

02 ニツ池公園の河津桜

#2月下旬から楽しめます



03 吉田園址さくら公園

#この場所にあった吉田保育園の思い出とともに
#桜が春の訪れを告げる

04 半月七社神社おまんと祭り



#人馬一体となって駆ける #若連に女性メンバーが初参加

05 大倉公園つつじまつり



#2800本のツツジ #春の庭園で音楽やグルメを満喫

06 桃山公園風車モニュメントと桜



#風車モニュメントと桜の共演

07 石ヶ瀬川緑道の桜とカラシナ

#ピンクと黄色のコントラスト #春の緑道さんぽ





01 矢戸川竹林の小径 #静寂の空間 #暑さを忘れそう



#金メダルのまち共和 共長夏まつり 02



#盆踊り・ダンス・よさこい #沖縄読谷村のエイサー団

大府夏まつり 03

04 星名池のハス #かれんな花 #見頃は早朝



#緑のトンネル #じゃぶじゃぶ池



大府みどり公園 05

06 ぶどう狩り

#甘くて香りも良い大粒ぶどうが食べ放題



#ぶどうの農業産出額が愛知県内1位! シャインマスカット 07





01

横根藤井神社祭礼 三番叟
藤井神社祭礼用山車

#江戸時代から続く伝統 #五穀豊穡を願って



大府市産業文化まつり

02



#秋の一大イベント #こどもも大人も楽しめる #横根地区・北尾地区の山車が5年に1度一堂に会する



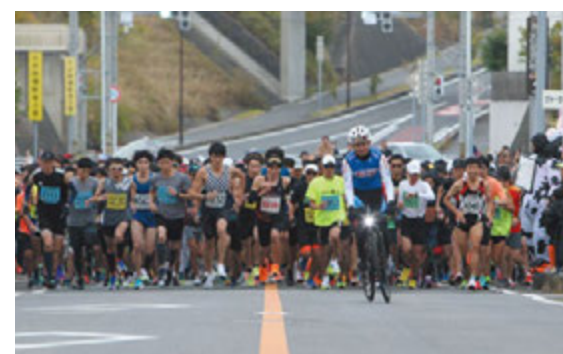
03

大府東浦花火大会 #あいち健康の森公園



04

大府シティ健康マラソン大会



#市民の応援が沿道にズラリ

05

鞍流瀬川緑道とヒガンバナ



#秋の訪れを告げる赤い花

#こどもの顔より大きい!?



ジャンボ梨 新高

06

07

大倉公園茅葺門と紅葉



#気軽に行ける紅葉狩りスポット

08

ニッ池公園に
アサギマダラ飛来



#シャーベットブルーが美しい

09

共和夢通りイチョウ並木



#別名金メダルロード



01 長草天神社どぶろくまつり



#室町時代から続く伝統行事 #御神酒(どぶろく酒)施行 #赤ら顔の猩猩



しょうじょう



共和駅前イルミネーション

02



大府駅前イルミネーション

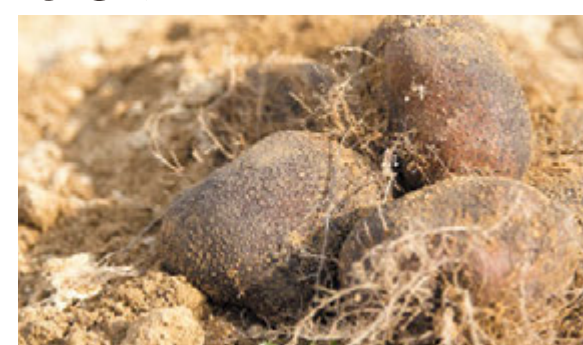
03

04 大府七福神めぐり



#七つの寺院を巡って開運祈願

06 このやまいも 木の山芋



#畑のウナギ



05 大府盆梅展 #一足早い春の訪れ



07 このやまごすん 木之山五寸にんじん #あいちの伝統野菜



#KURUTOおおぶ #冬ver.と春ver.あります



#いちご狩り いちご

08



1970年（昭和45年）	9月 11月	市制施行 初代市長に大島武雄氏就任 第1回産業文化まつり開催	1989年（平成元年）	4月	石ヶ瀬会館開館	2011年（平成23年）	11月	ウェルネスバレー推進協議会設立	2019年（令和元年）	5月	吉田沙保里氏に市民栄誉賞を授与
			1991年（平成3年）	3月	大府みどり公園オープン 勤労文化会館開館 桃山公園風車モニュメント完成	2012年（平成24年）	8月	ロンドン五輪で 吉田沙保里氏と伊調馨氏が 3大会連続金メダル獲得 小原日登美氏が金メダル獲得	2020年（令和2年）	4月 9月	第6次大府市総合計画スタート 市制50周年（記念式典は延期） 消防署共長出張所・防災学習センター開所
▲市役所開庁式		▲市制施行記念祝賀パレード	1992年（平成4年）	2月	第1回大府七福神まつり （現大府七福神めぐり）開催 第1回大府盆梅展開催	2014年（平成26年）	2月 7月	富山県小矢部市と災害時相互応援協定締結 おおぶ文化交流の杜allobu開館	2021年（令和3年）	1月 2月 4月	大府市ゼロカーボンシティを宣言 明神樋門・明神川逆水樋門が国の 登録有形文化財に登録 東京2020オリンピック聖火リレー大府開催 新型コロナワクチン接種開始
1971年（昭和46年）	9月	市民憲章制定	1993年（平成5年）	11月	オーストラリア セントキルダ市と 姉妹都市提携			▲おおぶ文化交流の杜allobu開館	2022年（令和4年）	2月	全国どぶろく研究大会開催
1974年（昭和49年）	4月	第1次大府市総合計画スタート	1994年（平成6年）	10月	第49回国民体育大会バドミントン競技開催	2015年（平成27年）	8月	大倉公園休憩棟・茅葺門が 国の登録有形文化財に登録	2023年（令和5年）	3月	『大府市新型コロナウイルス 感染症対策記録誌』発行
1976年（昭和51年）	3月	大倉公園一般公開開始	1995年（平成7年）	7月	国立長寿医療研究センター開所	2016年（平成28年）	4月 8月	市長に岡村秀人氏が就任 リオデジャネイロ五輪で伊調馨氏が 4大会連続金メダル獲得 登坂絵莉氏、川井梨紗子氏、 土性沙羅氏が金メダル獲得 吉田沙保里氏が銀メダル獲得	2024年（令和6年）	1月	市内中学校の学校給食費無償化 清水くるみ氏・山下俊輔氏、広報大使に就任
1977年（昭和52年）	4月	第1回大倉公園つつじまつり開催	1997年（平成9年）	10月	あいち健康の森公園オープン		9月	平和都市宣言		4月	大府市民球場誕生
1978年（昭和53年）	9月	新大府駅舎完成、駅前広場整備	1999年（平成11年）	4月 12月	第4次大府市総合計画スタート 市公式ホームページ開設	▲リオデジャネイロ五輪 パレード			▲大相撲大府場所を初開催	8月	認知症ヘルプマーク発表 市公式イメージ曲アレンジメントバージョン発表
1980年（昭和55年）	4月 7月 11月	市長に鷹羽操氏就任 中央図書館開館 歴史民俗資料館開館	2000年（平成12年）	9月 11月	市役所新庁舎業務開始 循環バス運行開始	2017年（平成29年）	8月 9月 10月 12月	おぶちゃんが市公式マスコットキャラクターに 就任 吉田秀彦氏、広報大使に就任 吉田沙保里氏、広報大使に就任 全国初 大府市認知症に対する不安のないまちづくり 推進条例を制定		9月	韓国洪城郡と姉妹都市協定締結
1983年（昭和58年）	4月	第2次大府市総合計画スタート	2003年（平成15年）	4月	子どもステーション開所	2018年（平成30年）	4月	大府市健康にぎわいステーション KURUTOおおぶ開所	▲韓国洪城郡と 姉妹都市協定締結	11月	ドラマ『忘れっぽいハムレット』全国放送 大府市オーガニックビレッジ宣言
1984年（昭和59年）	9月	保健センター新築移転	2004年（平成16年）	4月	ニッ池セレクトナ開館 市長に久野孝保氏就任	2019年（平成31年）	2月	竹澤恭子氏、広報大使に就任		12月	日本経済新聞社「SDGs先進度調査」 10万人未満の市区で3回連続の全国1位を獲得
1985年（昭和60年）	9月	市民体育館開館	2006年（平成18年）	3月	健康づくりマスコットキャラクター おぶちゃん誕生				2025年（令和7年）	9月	市制55周年記念式典開催
1986年（昭和61年）	11月	第1回大府シティ健康マラソン大会開催	2007年（平成19年）	10月	中学校卒業までの医療費無償化開始						
			2008年（平成20年）	2月 8月	岩手県遠野市と災害時相互応援協定締結 北京五輪で吉田沙保里氏と伊調馨氏が 2大会連続金メダル獲得						
		▲第1回大府シティ健康マラソン	2009年（平成21年）	4月	市民活動センターコラピア開所						
1987年（昭和62年）	3月	健康づくり都市宣言	2010年（平成22年）	4月 10月	第5次大府市総合計画スタート 岩手県遠野市と友好都市提携						



大府市

総面積 33.66km²
人口 93,160人(2025年6月末現在)
世帯数 41,250世帯(2025年6月末現在)



大府市は、名古屋・知多・三河を結ぶ交通の要衝で、JR東海道線で名古屋駅から約15分という立地や高速道路網の整備による高い利便性と、豊かな自然・産業・住環境の調和がとれたまちです。

1906年に7ヶ村が合併して大府村となり、現地域が確定し、1915年には町制を施行しました。1970年9月1日、愛知県内24番目の市として市制を施行。55年にわたり「健康都市」をまちづくりの基本理念に掲げて、成長を続けています。2021年には「日本のバイオリン王」と呼ばれる鈴木政吉が創業した鈴木バイオリン製造株式会社を誘致し、「音楽のまち・バイオリンの里おおぶ」の実現に向けて歩みを進めています。

大府市民憲章

わたくしたち大府市民は、
限りない市の発展に願いをこめて市民憲章を定めます。

- 1. 自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- 1. 教養を深め豊かな心を育てましょう。
- 1. 健康でしあわせな家庭をつくりましょう。
- 1. 仕事に誇りをもちりっぱな社会人になりましょう。
- 1. きまりを守り明るい平和なまちをつくりましょう。

市章



市の木



クロガネモチ



サクラ

市の花



クチナシ



ツツジ

友好都市



岩手県遠野市

姉妹都市



オーストラリア
ポートフィリップ市



ホンソングン
韓国洪城郡

大府市ビジュアルプロモーションマーク

大府市のイメージを視覚的に表現するマーク。大府を表す「obu」の周りを、SDGsのテーマカラー17色で囲むことで、多様性を表現しています。また、「U」の部分に笑顔を取り入れ、笑顔で健康的に持続可能な都市として成長している様子を描いています。



交流都市



愛媛県新居浜市



滋賀県長浜市



愛知県新城市(作手地区)

大府市公式イメージ曲

自然豊かで温かいまちを表現した『HABATAKI』と躍動感のある『FUN! OBU』。市制55周年を記念して広報大使の水野紗希さん・山下俊輔さんがプロデュースし、2曲のアレンジメントバージョンが誕生しました。



※CDジャケットは、大府東高等学校の生徒が制作

大府市公式マスコットキャラクター

体の形は大府市の地形。明るい黄色は元気のしるし。チャームポイントは市の花クチナシ。タスキを掛けて未来への健康の橋渡し役を務めています。



おぶちゃん



長野県王滝村



長野県木曽町



富山県小矢部市



MESSAGE

市長メッセージ

大府市は、1970年の市制施行以来、「健康都市」をまちづくりの根幹とし、産業の発展と快適な住環境が調和した豊かなまちの実現に取り組んでまいりました。近年は、こども・子育て支援をはじめ、高齢者や障がいのある方々への支援にも力を注ぎ、あらゆる世代がいつでも安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりを進めています。こうした取り組みの積み重ねにより、大府市は「住みやすいまち」として、市内外から高く評価されるようになりました。これもひとえに、先人たちのたゆまぬ努力、そして市民の皆様の温かいご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

さらに現在、「音楽のまち・バイオリンの里おおぶ」としての新たな挑戦を始め、市内小学校でのバイオリン授業の実施や、大府みどり公園での野外クラシックコンサートの開催など、音楽を通じたまちづくりが着実に広がりを見せています。

市制55周年を迎える本年度のテーマは「健康と音楽」。キャッチコピーには、「Obu Crescendo! (オオブ・クレッシェンド!)」～健康と音楽が調和するまち～」を掲げました。音楽には、人の心に寄り添い、癒しと喜びを届ける力があります。これまでの55年の歩みを礎に、市民の皆様とともに、音楽を身近に感じながら、健やかで幸せを実感できる毎日を育み、希望あふれる次の時代へと、力強く歩みを進めてまいります。

大府市長 岡村 秀人